



アスベスト含有調査

○アスベスト調査業務及びアスベスト除去工事は年々増加すると予想され、建物の解体・改修工事の前には、事前調査が義務付けされています。

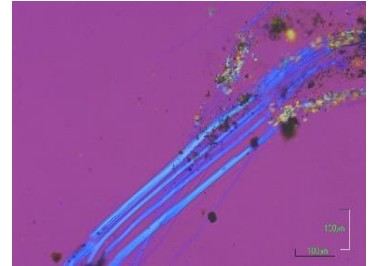
JIS A 1481-1(建材製品中アスベストの分析方法)に対応し
迅速なアスベスト定性分析が可能です！

◆長所

- ・短期間対応（通常 3 日、当日も可）
- ・低価格対応
- ・国際的な分析方法
- ・1 日に多数検体も対応可能
- ・多層建材での層毎の分析が可能（※）
- ・少ない試料で分析が可能（1 cm³程度）



【実体顕微鏡写真（石膏ボード）】



【クリソタイトルの偏光顕微鏡写真】

（※）外壁等の仕上塗材では、建築用仕上塗材とその下地調整塗材を区別して分析することにより、
石綿含有建材の部位に応じた、除去等の工事計画立案が可能です。

JISA1481-1 は JISA1481-2 に比べ、分析者に熟練度が必要となります。
当社は、**Aランク認定者***が迅速に分析を実施します。

* 石綿分析に係るクロスチェック事業（(公社)日本作業環境測定協会）

また、「建材中のアスベスト分析技能試験**（試験所対象,APT-3）」にも参加し
合格している、**北陸地方唯一の試験所**です。 **（一社）日本環境測定分析協会主催



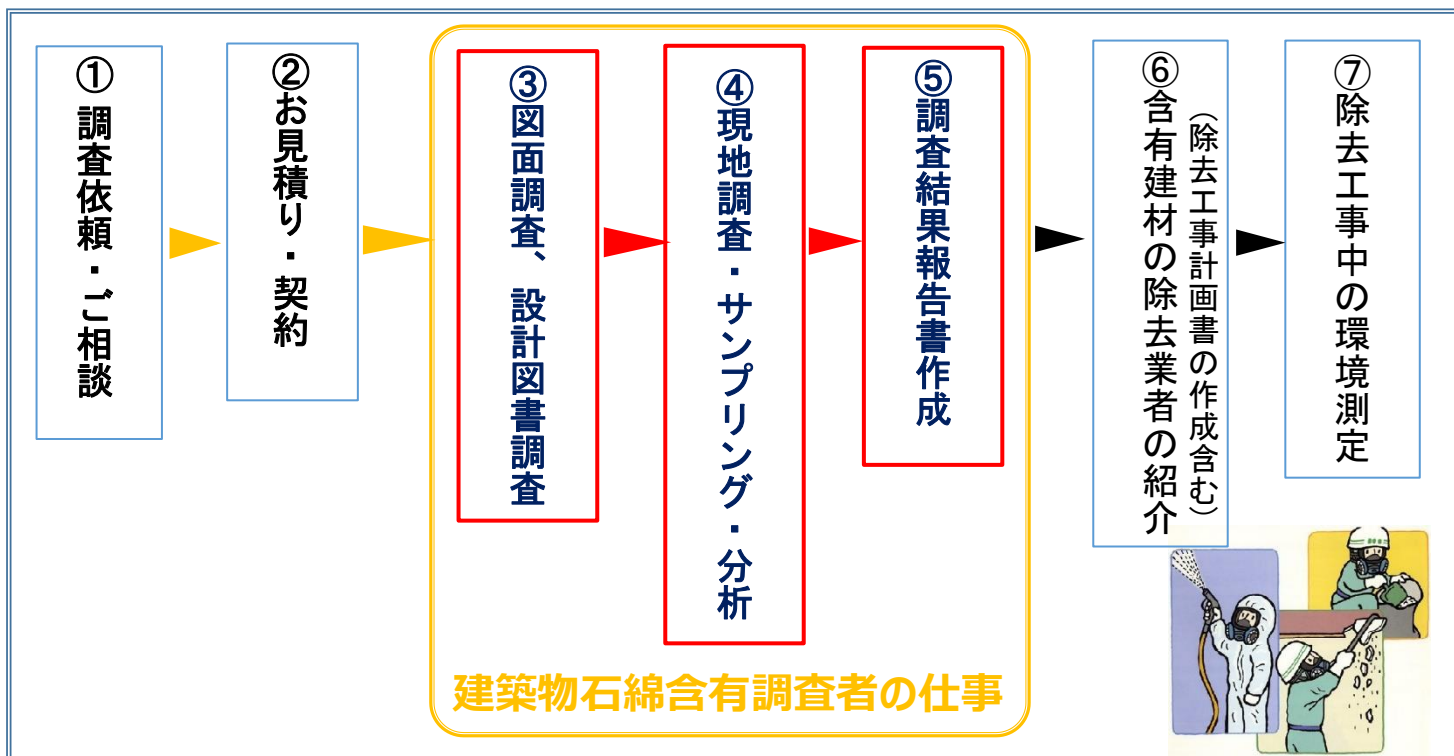
◆各分析方法との比較

	JISA1481-1 (2016)	JISA1481-2 (2016)	JISA1481-3 (2016)	JISA1481-4 (2016)
	定性分析(推定定量を含む)	定性分析	定量分析	定量分析
ISOとの比較	ISO22262-1:2012と一致	国内法	国内法	ISO-22262-2:2014と一致
対象物	建材、原材料、天然鉱物全般	建材、製品のみ 天然鉱物は不可		建材、原材料、 天然鉱物全般
試験装置	偏光顕微鏡 実体顕微鏡	X線回析 位相差・分散顕微鏡	X線回折	偏光顕微鏡
試料採取量	1 cm ³ 程度×3カ所(均一試料の場合) 10 cm ³ 程度×3カ所(吹付材の場合)	100 cm ³ 程度×3カ所(均一試料の場合) 10 cm ³ 程度×3カ所(吹付材の場合)		JISA1481-1に同じ
特徴	・短期間・低価格での分析が可能 ・層別に分けた分析が可能 ・少ない試料で分析が可能 ・X線回析による定量分析が不要 ・分析者の訓練が必要	・国内では主流の方法 ・分析者による技能差は生じにくい ・層別での分析は不可		・低濃度試料に適用 (~5%)



アスベスト事前調査

◆調査の流れ



◆サンプリング箇所など含め漏れのない調査が必要です。

大気汚染防止法、石綿障害予防規則に基づくアスベストの事前調査は、厚生労働省の通達において、石綿に関し一定の知見を有し、的確な判断ができる者※が行うとされています。

※建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者、アスベスト診断士など

◆建築物石綿含有建材調査者とは？

平成 25 年に国土交通省が創設した石綿含有建材調査の公的資格です。

アスベストに関する知識があるだけでなく、建築物の調査実務に精通し、建築物石綿含有建材調査者講習登録規定による登録講習機関が行う講習を受け、修了考査に合格した**アスベスト調査の専門家**です。

調査者の一覧は下記の登録講習機関のホームページに記載されています。(http://www.jesc.or.jp/info/asbestos/02.html)



建築物石綿含有建材調査者 1 名、

石綿作業主任者 (事前調査に関する講習を受講済) 2 名が在籍

調査後の対応についてご相談も承ります。

事前調査から除去工事のご相談まで一貫してお任せください



アースコンサル株式会社

作業環境測定機関 (富山労働局登録 16-5)
計量証明事業所 富山県知事登録;第 5302 号(濃度)

〒939-0315 富山県射水市戸破 8-17

TEL 0766-56-1180 FAX 0766-56-8811

(Web <http://www.e-consul.co.jp>) Mail iwamas@e-consul.co.jp

担当 ; 安全衛生コンサル部 岩間、福岡